

全分野		音楽				
学年	第1学年	担当教員名	(高橋久美子)			
単位数・期間		2単位	通年	週あたりの開講回数	1回	必修選択、履修単位
授業の目標と概要		音楽美を理解し、感得することで創造的活動と知的陶冶に結びつけ、高尚な美的情操と豊かな人間性を養うことに目標を置く。生活の中に高尚な趣味を持ち、美的判断を高め、円満な人間形成ができるようになる。				
		釧路高専目標	A:100%	JABEE目標		
履修上の注意(準備する用具・前提となる知識等)		毎回の授業で小テストを行う。その内容は、個人の歌唱、器楽奏、指揮法などである。また、合奏の他、音楽史、楽典、聴音等の学習時には課題を課す。音を出すことに責任を持てるようにすること。				
到達目標		音楽の基本的な表現に必要な技術を修得できる。 音楽経験を豊かにするために必要な知識を理解できる。 優れた音楽に親しみ、音楽の美しさを味わって聞くことができる。				
成績評価方法		小テストの成績を60%、提出された課題の内容を40%として、この合計点により合否判定を行う。60点以上で合格とする。学習意欲や学習態度でプラスマイナス10段階の評価を出し、合否判定成績に加点減点し、これを最終評価とする。再試験は、課題提出と実技テストを行う。(60点以上で合格。)				
テキスト・参考書		教科書：高校音楽Ⅰミュージックビュー（教育出版） 参考書：DVD、CD、総譜など				
メッセージ		実技の練習は効率的に行なうこと。 友人同士で助け合うことが大切です。 リコーダー、ギターキーボードは大切に使用してください。				
前関連科目			後関連科目			

授業内容	
授業項目	授業項目ごとの達成目標
1. 音楽の要素としくみ 2. リズム 3. メロディ 4. ハーモニー 5. 楽典 (8回)	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽のきまりを理解できる。 ・音楽を身体で感得できる。 ・音楽を注意深く聞くことができる。 ・音の組み立てを理解できる。 ・記譜能力を身に着けることができる。
前期中間試験	実施しない
6. 物語と音楽 7. 絵画と音楽 8. 合奏(アニメ・メドレー) (7回)	<ul style="list-style-type: none"> ・音符とリズムの関係を理解することができる。 ・有名な曲を演奏することができる。 ・アンサンブルを楽しむことができる。
前期期末試験	実施しない
9. 創作 10. 音楽史 11. アメリカ大陸の音楽 (8回)	<ul style="list-style-type: none"> ・メロディーに詞をつけることができる。 ・自作の詞にメロディーをつけることができる。 ・音楽の文化的、歴史的な背景を理解できる。
後期中間試験	実施しない
12. ドイツの音楽 13. イタリアの音楽 14. 合唱 15. まとめ (7回)	<ul style="list-style-type: none"> ・諸民族の音楽を特徴を捉えることができる。 ・楽曲の構造や楽器とメロディーの関係を学ぶことができる。 ・リズム、メロディーを正しく演奏することができる。 ・ハーモニーを組み立てることができる。
後期期末試験	実施しない

到達目標			
1. 音符や休符の示すリズムと音階を理解し、正しく読み書きができる。			
2. 正しく楽器の演奏ができる。			
	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)
評価項目1	楽譜によって正しく演奏でき、メロディーを正しく記譜することができる。	楽譜の意味を理解できるが、記譜することができない。	楽譜の読み書きができない。
評価項目2	キーボード、リコーダー、ギターという、タイプの異なる楽器を複数演奏できる。	キーボード、リコーダー、ギターのうちひとつを正しく演奏できる。	楽器の演奏ができない。

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60			+10	40		100
基礎的能力	40				20		60
専門的能力	10				10		20
分野横断的能力	10				10		20